

* 0032455000 *

0032455-000

14. 4 - 1151

高山市勢要覽

岐阜県高山市・編

高山市

昭和17年度

昭和17

AFB

14.4

1151

〔岐阜縣〕高山市勢要覽、昭和十七年度

高山市役所編

14.4
151



昭和十七年度

高山市勢要覽



街市山高るた見り上岡公山城

宮川の流



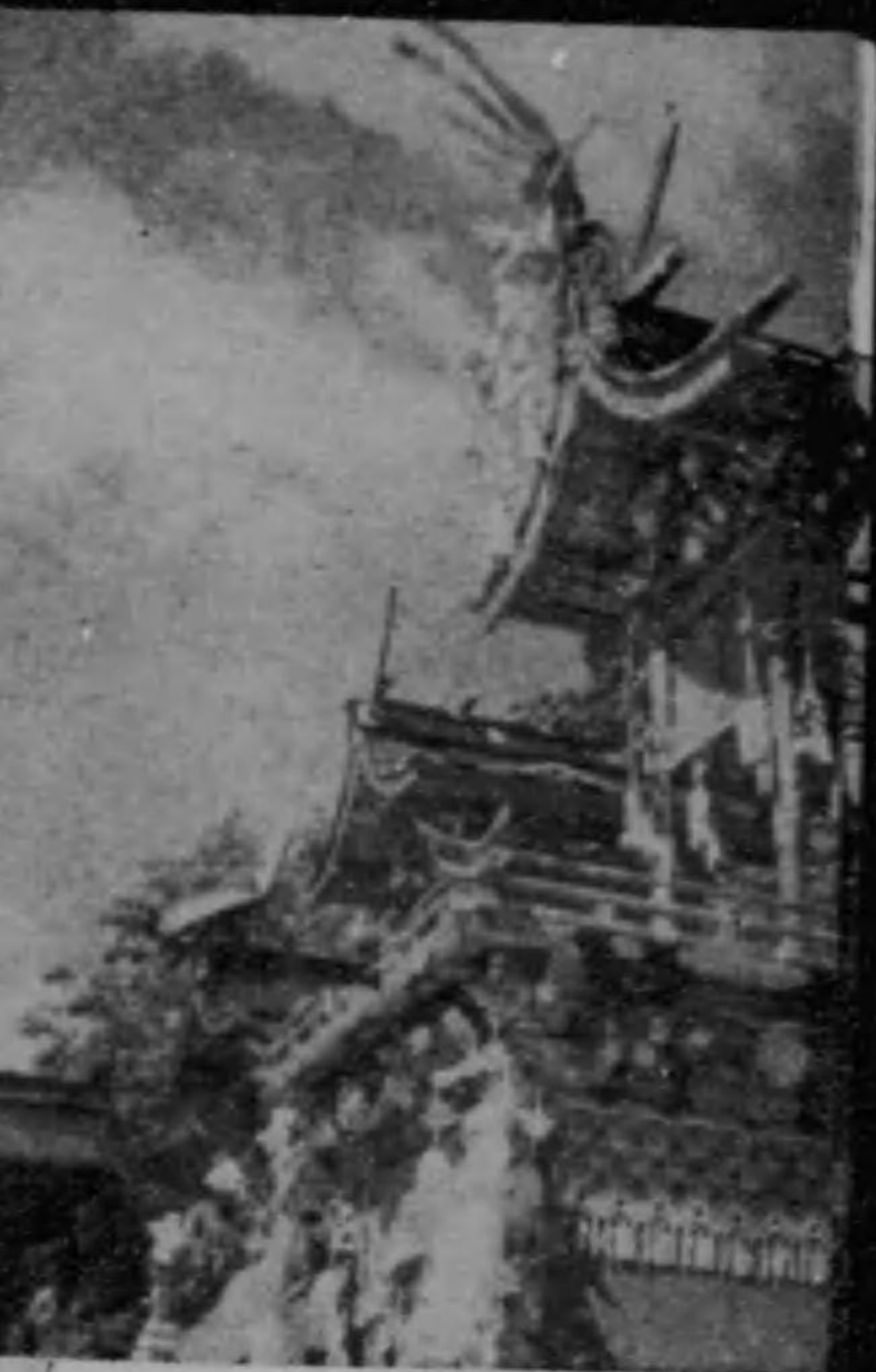
高山公園上り市街を望む



右高山陣屋跡
飛騨国分寺



地名所蹟	沿革	地勢	高山市勢要覽	
<p>高山市の東南にあり飛騨國主金森長近の居城跡で天神山、白雲山、臥牛山、青山等の別名がある、面積六萬六千餘坪南に接する山王公園を合せると十萬坪に及ぶ、市街を一望眼下に収め、山老杉古松聳立ち櫻、楓其の間を點綴して頗る風致に富み又園内到處日本アルプスの展望を恣にし風光明媚真に天下の名園たるに恥ぢない。</p> <p>尙二之丸跡には「軍神廣瀬中佐」の銅像がある、中佐は嚴父</p>	<p>高山の名は古く八百六十年前承保の頃から既に記録に現はれて居る。然し高山盆地そのものは上古より國府の地であり當初の國分寺伽藍塔も興築され上代文化の搖籃地であつたが高山そのもの、發祥は室町時代永正年中に高山外記が天神山(今の高山公園)に城廓を築へたに始まる、天正十三年(約三百五十年前)豊太閤の幕府越前大野の城主金森長近が越中より飛騨に入り國内を平定してこゝに封ぜられ、同十六年此の舊城に再び城を築き城下の市井を創設したのが街としての体裁を備へた始めである。金森氏は六代百七十年間住したが元禄五年頼田羽の國上之山に移封を命ぜられ其の後徳川幕府直轄天領の地として慶應四年迄二十五代百七十七年間代官郡代の治政下に置かれた。</p> <p>廢藩置縣に依つて明治元年五月飛騨縣の管轄となり飛騨縣は同六月高山縣と改稱せられ、明治四年十一月高山縣廢止に依り富山縣所屬となり、明治九年八月筑摩縣の廢止によつて岐阜縣の管轄に屬するに至つた。明治二十二年七月町村制實施と共に高山町と稱し、大正十五年十月灘村を合併、昭和十一年十一月一日隣接大名田町と合併して市制を施行し高山市と稱するに至り飛騨全土文化の中心、物資の集散地として將又東海、北陸を繋ぐ鐵道高山本線の主要地として農興り、工業榮え、商振ひ日に月に發展して今や中部日本に於ける樞要の都會となり益々隆運に赴かんとす。</p>	<p>高山の名は古く八百六十年前承保の頃から既に記録に現はれて居る。然し高山盆地そのものは上古より國府の地であり當初の國分寺伽藍塔も興築され上代文化の搖籃地であつたが高山そのもの、發祥は室町時代永正年中に高山外記が天神山(今の高山公園)に城廓を築へたに始まる、天正十三年(約三百五十年前)豊太閤の幕府越前大野の城主金森長近が越中より飛騨に入り國内を平定してこゝに封ぜられ、同十六年此の舊城に再び城を築き城下の市井を創設したのが街としての体裁を備へた始めである。金森氏は六代百七十年間住したが元禄五年頼田羽の國上之山に移封を命ぜられ其の後徳川幕府直轄天領の地として慶應四年迄二十五代百七十七年間代官郡代の治政下に置かれた。</p> <p>廢藩置縣に依つて明治元年五月飛騨縣の管轄となり飛騨縣は同六月高山縣と改稱せられ、明治四年十一月高山縣廢止に依り富山縣所屬となり、明治九年八月筑摩縣の廢止によつて岐阜縣の管轄に屬するに至つた。明治二十二年七月町村制實施と共に高山町と稱し、大正十五年十月灘村を合併、昭和十一年十一月一日隣接大名田町と合併して市制を施行し高山市と稱するに至り飛騨全土文化の中心、物資の集散地として將又東海、北陸を繋ぐ鐵道高山本線の主要地として農興り、工業榮え、商振ひ日に月に發展して今や中部日本に於ける樞要の都會となり益々隆運に赴かんとす。</p>	<p>高山市は飛騨高原の中央に位し海拔五百七十三米(約千九百尺)の高地にして飛騨國隨一の山岳都市である。市街の東は城山、東山の丘陵低く臥し西に城趾松倉山が崛起し更に其の支脈中山の小丘北に走り其の間所謂高山盆地をなして居る。飛騨縱貫鐵道高山本線は市街を縱斷し、宮川の清流は街の中央を北に流れて幹流となり、江名子川は東部を流れて宮川に注ぎ、又西北部は昔川南より北に貫流して市の北端にて宮川に合流して居る。東方遙に雄大な北アルプスの連峰を一時に收め西に遠く白山の秀峰を望み氣候概ね溫和にして四時移り行く特異なる風光と山河自然の間に無限の詩趣と幾多の傳説や口碑を藏してゐる。</p>	<p>高山市勢要覽 (昭和十六年)</p>



高山祭屋台

名

所

舊

蹟

重武氏が高山裁判所長たりし時弟妹と共に少年時代を煥章學校(今の東國民學校)に學んだ緣故により建設せられたものである。公園一帯昭和八年史蹟に指定せらる。

高山陣屋趾 (史蹟)

現今の飛騨支廳、本町通りの南端にあり、往昔飛騨國主金森氏が下屋敷とした處で當時は二千八百四十坪であつたと傳へられて居る。元祿五年徳川幕府が之を沒收して飛騨代官の治所に當て、慶應四年迄百七十七年間高山陣屋と稱へ政務の行はれた處で現在の建物は文化十三年(約百二十年)に改築せられ其の後數度の變遷によつて構えは大に縮少せられたが表門、支關、奥庭、寢宮等は今猶舊態を存し全國にたい一つしか残つてゐない代官屋敷である。昭和四年高山陣屋趾として史蹟に指定せらる。

飛騨護國神社

高山公園の麓に鎮座す、舊城漆に臨み境内を櫻の大樹で埋めて居る。元神道中教院のあつた處で今尙廣く「忠孝苑」と呼び、西南の役以來飛騨國より出征殉國せられし勇士の靈を祀る。本殿に隣して「黄金神社」がある。金山奉行宮嶋平左衛門及茂住宗貞を祀り俗に「金の神」と云ひ崇敬者國中に及ぶ高山公會堂及飛騨物産館は其の近くにある。

縣社 日枝神社

高山公園の南麓に鎮座す日枝大山之神を祀る、天正の末國主金森長近が高山城築造に當り此の地に奉遷して城の鎮守と仰ぎ崇敬の厚かつた神社である、毎年四月十四、十五の兩日が例祭で山王祭と稱し壯麗な神輿の渡御と華麗な屋臺の練行とは其の名全國に鳴り響いて居る。

縣社 八幡神社

北山公園の麓に鎮座す、仁徳天皇の御宇兩面宿禰が御仁政に逆き奉つたので武蔵熊命が勅を奉じて入國し、宿禰を誅伐せられた時此の地に應仁天皇を祀つて其の奉告祭を行はれた靈場と傳へられて居る。毎年九月十四、十五日の兩日に行はれ例祭は八幡祭と稱し屋臺の練行、祭式は山王祭と共に當地に於ける春秋の二大祭として森嚴優美を天下に誇つて懼らぬ神事である。

縣社 飛騨總社

市の北方七日町に鎮座す、式内八社、式外十一神及斐陀國造の神八八神命を祀り、總社が森と呼んで居る往昔國司任國の時國の神拜所として尊崇の深かつた神社である、文政三年田中大秀翁が古來の傳承により神威を改築して祭祀を復興し今日に至る、毎年五月九日が例祭で莊嚴な祭儀が行はれる。

松壽寺 (東照宮社)

市の西郊松山に鎮座す、金森重頼の創建に係る郷社東照宮社や金森長近を祀る金徳神社がある、四季の眺望一として

國分寺 (國寶)

住ならざるなく、盆地の俯瞰と日本アルプスの展望を恣にして春秋行樂の地として杖を曳く客が絶えない。

高山別院

市の東方にあり後鳥羽天皇の第十二皇子嘉念坊善俊上人を開基と傳へ、天正十六年國主金森長近が白川郷中野から茲に移したものである。寺號を照蓮寺と稱へ俗に御坊様と呼び構造輪奐の結構を極め飛騨國第一の大伽藍である。

山岡鐵舟兩親の墓と鐵舟の碑

明治維新の功臣山岡鐵舟先生が幼少の頃、弘化二平から嘉永五年に至る約七年間父と共に高山陣屋に起居し文武の道を手解きされた處で、東山宗猷寺には飛騨郡代として此の地に卒した父「小野朝右衛門高福」夫妻の墓と「鐵舟の碑」がある。

加藤清正の墓

寛永年中此の地に流滴された、加藤清正の嫡孫「豊後守光正」の墓が東山法華寺山内にありて、同寺にはまた貴重な遺品を藏して居る。

東山

市街の東部を劃して東北に走る、小丘地帯の總稱で此の一帶多數の神社佛閣が点在し怡も京都の東山を譽えたりしめてゐて別項宗猷寺、法華寺の外國守金森長近一族の菩提寺素玄寺や、庭園の美を備へた大雄寺等其の他歴史的に著名な箇所が尠くない。

田中大秀翁墳墓と荏野文庫趾 (史蹟)

市の東郊江名子にあり松室岡と稱す、翁は本居宣長の高弟にして大平翁と親交深く國典雅樂に通ず、文化十四年此の地の式内荏名神社を再興し神祠に隣接して敬神尊皇の道を鼓吹し皇國學を唱導すること三十年弘化四年十一月十日御即位大典に際し特旨を以て正五位を贈らる、著書中、竹取物語解、養老美泉論、荏野册子最も有名なり。荏名神社には當時の「荏野文庫趾」が史蹟として現存して居る。

原山スキー場

高山驛より二軒餘、山麓迄自動車を通じ、スキー場へ徒歩僅に六百米、北アルプスの展望を恣にする高臺で初心者練習

蹟

舊

所

名

に好適な高山市外隨一のスキー場で完備した鐵道省の原山ヒユツテがある。

松倉城趾 (史蹟)

市の西郊にある三木自綱の居城趾で史蹟に指定せられて居る高山盆地の俯瞰は勿論日本アルプス、白山連峰を始め、四圍の山々を眺めることの出来る高山近郊隨一の景勝地である。又山中には慈覺大師作佐々木高綱の持佛と稱せられる當國七觀音の一なる馬頭觀世菩薩を安置し其の緣日八月十日は牛馬安全養蠶豐饒祈願の爲遠近各地から參詣する人で雜踏を呈する。

國幣小社 水無神社

高山より四軒餘、(飛騨一の宮下車便宜)俗に一の宮と稱し、祭神は御歳神、高照姫命、天照御魂神、及妻陀國造の遠祖、天照國照彦火明命を祀る、神域誠に宏大森嚴、毎年九月二十五日の祭禮には古儀馬樂の遺蹟を傳ふる有名な神代踊が行はれる。また、神寶に飛騨工の作と傳ふる「眼抜神馬」等がある。

中部山岳國立公園

信飛、信越國境上數十里に亘つて巒々として起伏せる飛騨山脈中所謂北アルプスの山岳地帯を占め面積一六九、七六八ヘクタール、飛騨、信濃、越中、越後の四ヶ國に跨り我國國立公園中最大の廣袤を有し白馬、鷺羽、槍、穂高、乗鞍等を始め二、五〇〇米以上の高峰峻岳を續立すること實に四十餘座に及ぶ。觀光、登山、スキー、キャンプ等の各方面に多種多様の傑出した要素があり、平湯、上高地等の靜寂な温泉境や黒部、双六等の原始境とに依つて特に其の聲價を擧げてゐる。

矢立杉 (天然記念物)

市内八軒町一本杉白山神社境内にあり、民族學上「矢立杉」に屬するもの、尖根の鐵鏃が射立てられた歴史上有名な神木である。

節婦 小出ちよ女

小出ちよ女は寛政年中の飛騨郡代小出大助照方の妻女で、貞淑善く夫に事へ、舅姑に奉じ、又よく子女を教へ、禮節を重じ儉素を守つて家政を整へた節婦で、國定教科書高女一年用修身卷二に良妻賢母の龜鑑として其の事蹟の一端が記されてある。市内一本杉白山神社の境内には小出郡代寄進の水鉢が記念物として殘されてゐる。

一、本書は市勢の概要を通覽するの便に供する目的を以て編纂せり。
一、本書は主として昭和十五年中の事實を掲げたるも靜態に屬するものは昭和十五年末若しくは昭和十五年年度末の事實を掲載せり。

高山市役所		面積		土		地		戸		口		
所在地	面積	官有地	廣表	民有地	官有地	免租年期地	有租地	昭和十五年末	昭和十四年末	昭和十三年末	昭和十二年末	昭和十一年末
大字三町一、二、七〇番地	四二、八八	御料地	極東 大字江名子字東俣 極西 大字西之一色字アハラガ洞 極南 大字石浦字二之瀬谷 極北 大字松本字上野坂	田畑宅地 山林野地 其他	内務省所管 其他	一、三三六	六、四四二 二、二二四 一、四四三 二五、九三三 七、二九一 七、二九一 三、七六五	三、二五三 一、七、七、七〇 一、七、四、六六 一、七、一、六三 一、六、七、六八 一、五、八、二一	三、二五三 一、七、四、六六 一、七、一、六三 一、六、七、六八 一、五、八、二一	三、二五三 一、七、四、六六 一、七、一、六三 一、六、七、六八 一、五、八、二一	三、二五三 一、七、四、六六 一、七、一、六三 一、六、七、六八 一、五、八、二一	三、二五三 一、七、四、六六 一、七、一、六三 一、六、七、六八 一、五、八、二一
海抜	(三七八)	計	九、八五〇米 (約二、五哩)	反別	計	一、六	二、二九、七三七 一、九、九三三 一、三三、八五九 八、六八六 三、七三三 三、九二、六六五	三、二五三 一、七、四、六六 一、七、一、六三 一、六、七、六八 一、五、八、二一	三、二五三 一、七、四、六六 一、七、一、六三 一、六、七、六八 一、五、八、二一	三、二五三 一、七、四、六六 一、七、一、六三 一、六、七、六八 一、五、八、二一	三、二五三 一、七、四、六六 一、七、一、六三 一、六、七、六八 一、五、八、二一	三、二五三 一、七、四、六六 一、七、一、六三 一、六、七、六八 一、五、八、二一
貨貸價格												
現在戸數												
出生												
死亡												
死産												
婚姻												
離婚												
出生計												
死亡計												
死産計												
婚姻計												
離婚計												
出生計												
死亡計												
死産計												
婚姻計												
離婚計												
出生計												
死亡計												
死産計												
婚姻計												
離婚計												

業 系 蠶				業 產 畜				業 農						
養蠶立置數	桑園	桑苗	養蠶戶數	屠場數	成懷馬豚羊計	養蜂	家畜	耕種地整理	茶葉	果實	組合名稱	事務所所在地	戶數	其他
3,553	1,103	2	9,061	1	1,150	8,909	3,155	高山市大字新町	茶	5,207	大野郡上野平耕地整理組合	高山市	78	1
3,553	1,103	2	9,061	1	1,150	8,909	3,155	高山市大字新町	茶	5,207	大野郡上野平耕地整理組合	高山市	78	1
3,553	1,103	2	9,061	1	1,150	8,909	3,155	高山市大字新町	茶	5,207	大野郡上野平耕地整理組合	高山市	78	1

業 農				額 價 產 生				口 戶	
農作物	耕種地所有別	耕種地別	農家數	農產	林產	畜產	水產	工	職別
米	3,281	2,721	1,889	75,909	1,364	1,364	1,364	1,364	本業
麥	1,004	812	1,889	1,364	1,364	1,364	1,364	1,364	副業
大豆	381	272	1,889	1,364	1,364	1,364	1,364	1,364	本業
其他	1,004	812	1,889	1,364	1,364	1,364	1,364	1,364	副業

業		工		業		產		水	
物 產 工 要 主				場 工 要 主		物 造 製 產 水		殖 養 產 水	
皮植染セ石鋪濱陶農馬藥味乾石寶清疊豆玩和牛機爾醬履菜漆眞酒製蠶木 革物ノ工較物磁 鉛製 儘 飲料 製ト		涼	織	漆印味和裁絹生 器刷啤酒機糸		計 他漬乾	其粘素 計 拍	鯉 其養陷 計 他地田	
品油物瓦品拍類器具産品噲飽灰藥水 腐具紙乳品物溜物子器品類材類品		腐具紙乳品物溜物子器品類材類品	織及工	製製油醱造 造本造造造		業業業業業業	業業業業業業		
X	X		場				數	場	
			數				量	數	
			數				價	收	
			價				額	獲	
								高	
								額	

業		產		水		業		林		業		系		蠶	
魚		水		漁		物		積		種		真		高	

業	商		業		產	
	株式會社	有限會社	株式會社	有限會社	株式會社	有限會社
飛驒物產館			信用組合	信用組合	信用組合	信用組合
魚市場	魚市場	魚市場	魚市場	魚市場	魚市場	魚市場
青物市場	青物市場	青物市場	青物市場	青物市場	青物市場	青物市場
農工業	農工業	農工業	農工業	農工業	農工業	農工業
商業	商業	商業	商業	商業	商業	商業
運輸	運輸	運輸	運輸	運輸	運輸	運輸
其他	其他	其他	其他	其他	其他	其他
計						
	積立金	積立金	積立金	積立金	積立金	積立金
	總額	總額	總額	總額	總額	總額
	株式會社	株式會社	株式會社	株式會社	株式會社	株式會社
	有限會社	有限會社	有限會社	有限會社	有限會社	有限會社

業	商		業		合組	
	株式會社	有限會社	株式會社	有限會社	株式會社	有限會社
飛驒物產館			信用組合	信用組合	信用組合	信用組合
魚市場	魚市場	魚市場	魚市場	魚市場	魚市場	魚市場
青物市場	青物市場	青物市場	青物市場	青物市場	青物市場	青物市場
農工業	農工業	農工業	農工業	農工業	農工業	農工業
商業	商業	商業	商業	商業	商業	商業
運輸	運輸	運輸	運輸	運輸	運輸	運輸
其他	其他	其他	其他	其他	其他	其他
計						
	積立金	積立金	積立金	積立金	積立金	積立金
	總額	總額	總額	總額	總額	總額
	株式會社	株式會社	株式會社	株式會社	株式會社	株式會社
	有限會社	有限會社	有限會社	有限會社	有限會社	有限會社

育										教										電氣	
校學年青					校學小					童兒齡學		電線耳長		車							
徒生		指導員		員教		學級		員教		童兒別年學		計女男		線路延長		街燈基數					
專研本普 計修究通 科科科科		無有 計資資 格格		男		女		代專本 計用科科 教正教 員員		卒入 業學 者者		既二 就學 學一 不始 就學期 二達 シタ ルモ ノ		戶各 數戸 所 燈 數		合 計					
六四〇	一三九	五七八	三〇八	男	生	男	六	六	男	五〇	四二	四四	男	二	二	一	一	二	二		
一七九	三〇〇	一四二	二一	女	徒	女	二	二	女	三	八	二	女	三	八	二	二	二	二		
二九一	一三三	二二七	二	男	入	男	二	二	男	一	一	一	男	一	一	一	一	一	一		
四九九	二〇六	一七一	一	女	學	女	二	二	女	一	一	一	女	一	一	一	一	一	一		
一〇六	二六	七〇	一	男	卒	男	七	三	男	一	一	一	男	一	一	一	一	一	一		
五九九	二〇	四八	一	女	業	女	三	四	女	一	一	一	女	一	一	一	一	一	一		
一七三	二二	一四	一	男	退	男	三	〇	男	六	四	二	男	二	二	一	一	一	一		
二一一	一	一	一	女	學	女	九	三	女	三	八	一	女	二	二	一	一	一	一		

通交										融金											
信通					鐵橋道					金貯及替爲便郵					屋賃						
電話		電話		小通		郵便局		道梁路		振替貯金		郵便貯金		私公		貯預貸		積同資		行	
電話		電話		包常		三等局		數縣		振替貯金		郵便貯金		私公		貯預貸		積同資		行	
電話	電話	電話	電話	包常	包常	三等局	三等局	縣	縣	振替貯金	振替貯金	郵便貯金	郵便貯金	私公	私公	貯預貸	貯預貸	積同資	積同資	行	行
電話	電話	電話	電話	包常	包常	三等局	三等局	縣	縣	振替貯金	振替貯金	郵便貯金	郵便貯金	私公	私公	貯預貸	貯預貸	積同資	積同資	行	行
電話	電話	電話	電話	包常	包常	三等局	三等局	縣	縣	振替貯金	振替貯金	郵便貯金	郵便貯金	私公	私公	貯預貸	貯預貸	積同資	積同資	行	行
電話	電話	電話	電話	包常	包常	三等局	三等局	縣	縣	振替貯金	振替貯金	郵便貯金	郵便貯金	私公	私公	貯預貸	貯預貸	積同資	積同資	行	行
電話	電話	電話	電話	包常	包常	三等局	三等局	縣	縣	振替貯金	振替貯金	郵便貯金	郵便貯金	私公	私公	貯預貸	貯預貸	積同資	積同資	行	行
電話	電話	電話	電話	包常	包常	三等局	三等局	縣	縣	振替貯金	振替貯金	郵便貯金	郵便貯金	私公	私公	貯預貸	貯預貸	積同資	積同資	行	行
電話	電話	電話	電話	包常	包常	三等局	三等局	縣	縣	振替貯金	振替貯金	郵便貯金	郵便貯金	私公	私公	貯預貸	貯預貸	積同資	積同資	行	行
電話	電話	電話	電話	包常	包常	三等局	三等局	縣	縣	振替貯金	振替貯金	郵便貯金	郵便貯金	私公	私公	貯預貸	貯預貸	積同資	積同資	行	行

會社				衛生				警備													
高山市公益質屋				衛生組合				警備													
利流辦貸		子質濟付		運搬車		種痘		火災		團防警		病院									
設立	口數	金額	前年金額	比較(△印減)	第一期	第二期	善感	不善感	檢查未了	度數	燒失戶數	損害見積高	團數	部數	班數	團長	副團長	部長	班長	警防員	
2,470	2,367	15,554	13,901	2,553	948	948	655	36	11	2	6	17,000	1	7	3	1	1	1	1	3	3
2,398	2,367	14,554	13,901	663	655	655	36	36	11	2	6	17,000	1	7	3	1	1	1	1	3	3
1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

警察				寺				社				育				教												
署				院				公學				費學公				校學諸												
警部		警部補		住職數		寺院數		神職數		神職數		普通財產		基本財產		積立金		圖書冊數		圖書冊數		圖書冊數		圖書冊數		圖書冊數		
1	4	7	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
1	4	7	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
1	4	7	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

政		財		業			事			會			社			
出 入		歳 入		法護保子母 助扶元依二			護教元依二法護教			營經會人婦			園 育 保			
部 常 經		合		醫養生 計 育活 扶扶 療助助			埋助醫生 計 活 扶 葬產療助			方 面 委 員			計 女 男			
青國土役會神		市線負雜公線財寄縣國報納交使財舊地國區國		科 目			世帯主 人 員			計 滿 了 事 故			計 在 籍 現 在			
年民		園 産 庫 用 産 法 方 稅 稅		昭 和 十 六 年 度 豫 算			人 員			計 在 籍 現 在			日 開 所			
學學木所議社		入 捨 收 越 賣 附 補 償 付 及 生 分 立 附 附					金 額			計 在 籍 現 在			日 開 所			
校校		收 拂 助 助					金 額			計 在 籍 現 在			日 開 所			
費費費費費費		計 債 金 金 入 入 金 代 金 金 金 金 金 料 入 入 稅 稅 稅 稅					金 額			計 在 籍 現 在			日 開 所			
一四、五三三	三五、一四七	五二四、二九九	七五、五〇〇	二、三九四	一、四九四	二、三九四	一、四九四	二、三九四	一、四九四	二、三九四	一、四九四	二、三九四	一、四九四	二、三九四	一、四九四	二、三九四
一四、五三三	三五、一四七	五二四、二九九	七五、五〇〇	二、三九四	一、四九四	二、三九四	一、四九四	二、三九四	一、四九四	二、三九四	一、四九四	二、三九四	一、四九四	二、三九四	一、四九四	二、三九四
一四、五三三	三五、一四七	五二四、二九九	七五、五〇〇	二、三九四	一、四九四	二、三九四	一、四九四	二、三九四	一、四九四	二、三九四	一、四九四	二、三九四	一、四九四	二、三九四	一、四九四	二、三九四

一七

市山高		西山高		業 事 會 社			會 仕 奉 山 高			社						
昭和二・七・二六		昭和二・七・二六		助 救			園 育 保 期 繁 農			園 育 保 家 の 鳩						
設 立		設 立		法外救助			江冬下西石 名 岡ノ 子頭本色浦			北東鳩の家保育園						
理 事 職		理 事 職		世帯數			開 設 日 數			設 立						
保 姆 員		保 姆 員		實 人 員			入 日 平 均			理 事 職						
炊 事 婦 員		炊 事 婦 員		延 人 員			職 員			保 姆 員						
經 費		經 費		救 助 金 額			職 員			炊 事 婦 員						
一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇
一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇
一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇

一六

員吏	員議	稅					租						
		分與稅配付稅	稅市	稅縣	稅國	擔負及稅諸	稅市	稅縣	稅國	擔負及稅諸			
收助市	市縣來貴	分與稅配付稅	特縣直 稅接國 計別附稅 加附加 稅稅稅	都雜營家段鎖所營營地 市計畫種業屋別 稅稅稅稅稅稅稅	織清物入遊酒酒臨營地相外特法所 貨別債續特 費料食出石得 稅稅稅稅稅稅稅稅租稅稅稅稅稅	一一 人戶 當當	一一 調定 額額	一一 調定 額額	一一 調定 額額	一一 調定 額額	一一 調定 額額	一一 調定 額額	
入	議族												稅市
役役長	議族												
	會會院院												
技書技	議員數	一〇三、四八三	一五〇、九七一	五三、七七〇	八二、三六九	三、三二一	一、〇四〇	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
手記師	有權者數	六、六三〇	三、三二一	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇

政					財																					
債市		產財市			出		歲常																			
土	木	其	他	計	部	時	臨	部	常																	
一八九、一五二	六〇、三九五			二四九、五四五	雜計	町保	市財	防兵	獎補	寄公	積學	土	豫公	雜兵	徵選	諸財	基警	公社	統勸	公墓	居污	傳傳	衛社			
					健名	史產	校立	管木	會業	地物	染生	會	豫公	雜兵	徵選	諸財	基警	公社	統勸	公墓	居污	傳傳	衛社			
					支改	生編	買空	事勵	助附	債管	木	會業	地物	染生	會	豫公	雜兵	徵選	諸財	基警	公社	統勸	公墓	居污	傳傳	衛社
					訂設	募入	金積					會業	地物	染生	會	豫公	雜兵	徵選	諸財	基警	公社	統勸	公墓	居污	傳傳	衛社
					出費	費費	費費	費費	費費	費費	費費	會業	地物	染生	會	豫公	雜兵	徵選	諸財	基警	公社	統勸	公墓	居污	傳傳	衛社
					計	計	計	計	計	計	計	會業	地物	染生	會	豫公	雜兵	徵選	諸財	基警	公社	統勸	公墓	居污	傳傳	衛社
					出費	費費	費費	費費	費費	費費	費費	會業	地物	染生	會	豫公	雜兵	徵選	諸財	基警	公社	統勸	公墓	居污	傳傳	衛社
					計	計	計	計	計	計	計	會業	地物	染生	會	豫公	雜兵	徵選	諸財	基警	公社	統勸	公墓	居污	傳傳	衛社

14.4
1151

製 控

14.4 函 | 1151 號 | 年 月 日

高山市勢要覽

昭和17年度

冊

備 考

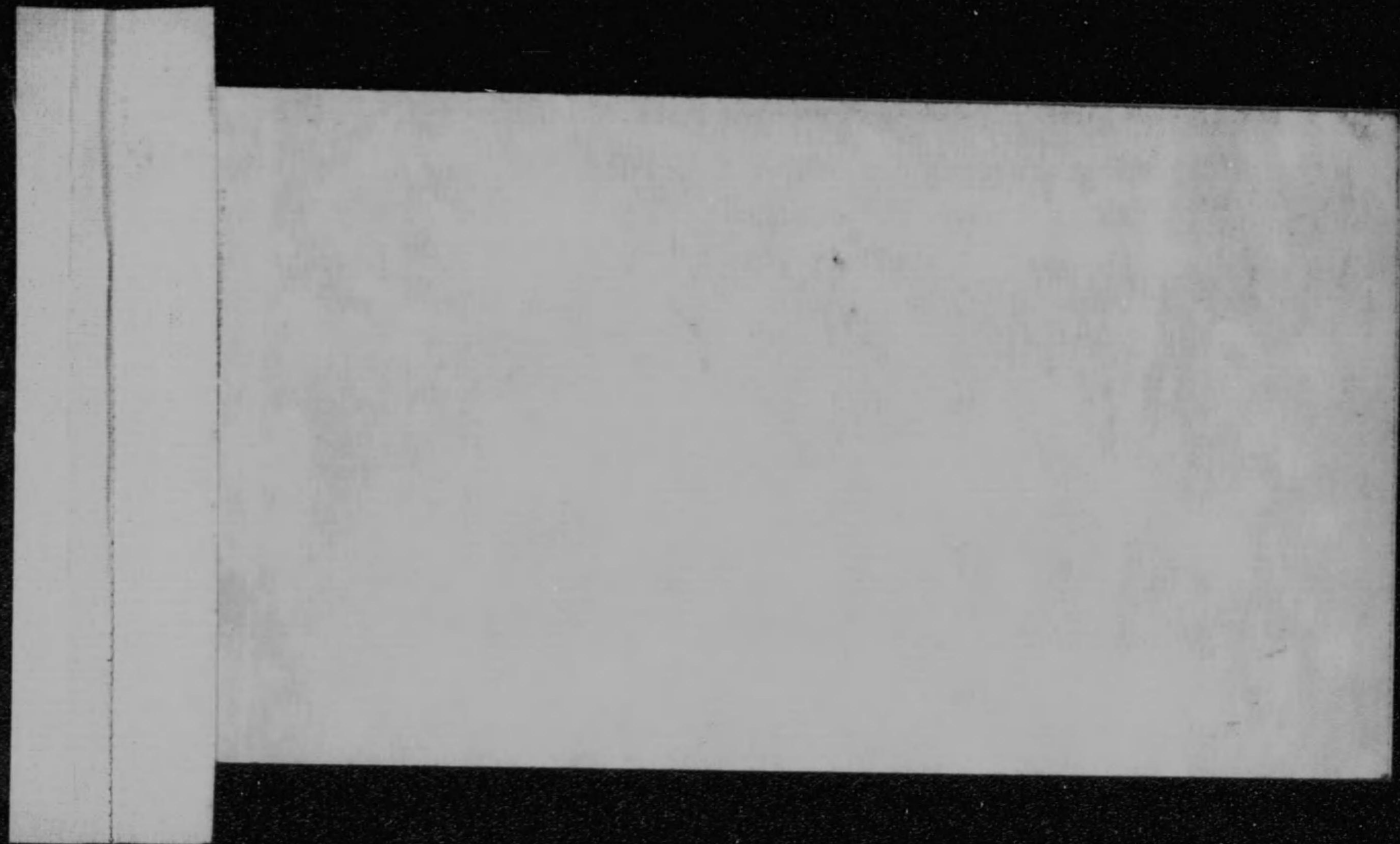
昭和十七年四月五日印刷
昭和十七年四月十日發行

岐阜縣高山市

印刷者 住 敏 三
岐阜縣高山市本町三丁目七番地

印刷所 高山印刷所

14 4
1151



1

2